



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「感謝をするということ」

2017年も残すところあと一カ月となりました。年々時が経つのが加速しているように感じ、少し恐怖を覚えます。(笑) 私がKSCEに来てからもう半年以上が経過しました。今年もこれといって何かを成し遂げたわけではないですが、残りの2017年を悔いのないように過ごしていきたいものです。

さて、今回の私のテーマは「感謝」についてです。感謝の気持ちを大事にすることなんて誰しも幼いころに周囲の大人たちから口酸っぱく言われたものでしょう。では皆さんは毎日あるいは毎週・毎月どのくらい誰かに対して「ありがとう」と感謝の気持ちを持ち、その気持ちを言葉にしているのでしょうか？父や母、もしくは祖父母、兄弟、学校の先生、職場の人・・・どんな人にどれだけ「ありがとう」と言っていますか？

そして、人以外にも、自分の服や靴、いつも使っているトイレ、お風呂というような「モノ」にも感謝の気持ちを持って言葉にしていますか？誰か他者に対して感謝の気持ちを伝えることはあっても、モノには感謝の気持ちを述べる人は少ないかもしれません。

そんな日々の何気ない生活の中での「感謝すること」について考えてみます。

「ありがとう」と感謝の言葉を口にするだけで、言う人も言われた人も心地よく感じるができます。また「ありがとう」といった側の人間も何か気持ちがスッキリとするものです。感謝の言葉にはその言葉を言う側にも言われる側にもちょっとした幸せをもたらす魔法の言葉だと思えます。この魔法の言葉は、私たちの心にゆとりをもたらす、色々な

とを気づかせてくれるものなのではないでしょうか。

この世界は色々な人のおかげで毎日が成り立っていると思います。日本では蛇口を捻れば水が出てくるし、ボタンを押せば電気が流れます。どこかに行く時も電車やバスがあるので歩いていく必要はありません。日本は非常に豊かな国なのです。しかし少し日本を出てみると日本の「当たり前」は当たり前ではありません。新聞やテレビを見ると毎日のように世界のどこかで紛争やテロが起き、尊い命が失われています。食べるものもなく、衛生状態も悪いために飢餓や伝染病に苦しむ人々が同じ地球にいます。

人だけではなく「モノ」に対しても感謝の気持ちを持ち、言葉にしてみる。そうすると「当たり前」が当たり前でないということ、この世界は色々な人・モノのおかげで成り立っているということに気づくことが出来るのではないかと思うのです。

私たち一人ひとりに何か大きなことができるわけではないと思います。しかし、とりあえず周りの人・モノに感謝していただくことで得られるものや気づかされるものは大きいのではないかと思うのです。

ちょっとしたことでもお世話になっている人やモノに「ありがとう」と言葉に出して言ってみる。小さなことにも感謝を続けることで得られるものや見えてくるものも変わってくるかもしれません。感謝の気持ちを言葉に出すことで、自分自身も変われると信じています。

「KSCEのスタッフの皆さんいつもありがとう。利用生さんいつもKSCEに来てくれてありがとう。」

(岩本 真一郎)

カウンセラーの目

「忖度する機械の不都合」

道で正面から来た人とすれ違う時お互いに同じ方向へ避けようとしてモタモタしてしまった経験をしたことのある人は多いと思う。

最近、耳にすることの多い説明としては、頭の中にミラーニューロンというのがあって、相手が動く時と同じ脳の部位が働く仕組みが備わっているのだから、相手が右に避ける動作をすると、自分は左に避ければ良いのに、同じ動作を模倣してしまって、二人で右に避けてしまうということが生じやすいのだという……。

その説明で全て解決というわけでは無いようだが、道ですれ違う時はともかく、社会生活をしている人間という存在にとって重要な役割を果たしているのだろうかということは想像できる。

道でのすれ違いでのモタモタは、お互いに相手を認識（意識）して対応しようとする機能（能力）が相互に働き合ってしまうことで、返って不都合が生じている場面ということになる。

例の「忖度（そんたく）」の問題も、この範疇に入るのだろうか……。

すれ違いのモタモタも、忖度も、人間同士の場合、良くも悪くも私の許容範囲の出来事と言えるのだが、相手が機械となると、私の評価は俄然厳しくなる。

つい最近まで「みんなちがって みんないい」というフレーズは「あいだみつお」の作品だと思っていたが作者は「金子みすず」だったのだと知った。

この間違いに気づかずに人生を送ったとしても（作者には失礼とは思いますが）私の生活に大きな変化は生じなかつただろうと思える。一度は恥をかくことはあるだろうが、その時点で間違いは修正されるはずだし……。

それを、恥をかく前に知るきっかけになったのは、2017年の10月にメインで使用していたパソコンが動作不良になって、急遽、代わりのパソコンを入手したからだった。

2017年10月の時点でメジャーなパソコンブランドの製品はOSが「ウィンドウズ10（Win10）」になっていて、それよりも自由度の高いショップブランドの物も大半が「Win10」になっていた。

使い慣れた「Win7」は中古ショップの再生パソコンということになってしまっただが、メンテナンスされているとは言えメインパソコンに不都合が隠れているかも知れない中古パソコンを導入することに躊躇した。

で、結局、ショップブランドのデスクトップパソコンで筐体に余裕のある物を購入して、まずはハードウェアの改装……DVDドライブを外してHDDラックと入替、メモリ増設とグラフィックボード追加……など、標準的な装備を自分仕様につけ替えた。細かい仕様変更を記述したい所だが、それは本筋では無いので省略……。

とにかく、「多くの人に便利だろう」と装備されていた部品を取り外し、「自分に必要な物」に置き換えるという作業をした。

ハードウェアは文字通り工業製品なので、規格が決まっています作業は「世界にひとつだけの花」を頭の中で歌う感じで順調に作業できた。

問題はソフトウェアに取り掛かってからだった。「Win10」を起動すると、マイクロソフトのアカウントを用意して欲しいとか、（音量を調節していなかったのに）いきなりコルチナと名乗る奴が「お手伝いします」と大音量で話しかけてきたり……私の人生観や経験に関係なく「一般ユーザー様向けの標準設定」を押し付けてくる奴（印象としては奴というより、奴らという感じ）のおせっかいを封じ込める作業をする羽目になった。

これも苦労話を延々と書きたい所だが、本筋では無いので省略……。ほぼ1週間をかけて、何とか自分に必要なソフトウェアが動作する状態でインストールし、外部の機器のドライバも動くものを手に入れることまでできたのだが、3ヶ月近く過ぎてても完全に調整できていない物が残っている。それが「フロントエンドプロセッサ」の機能で、要するに「日本語変換機能」の部分なのだ。

文章を作成するときに必須の機能なのだが、こいつが思い通りに動いてくれない……。

「予測変換機能」が働いていると私が生涯使わないような単語も候補に上がって来たりする。「連文節認識機能」も（たぶん改良されたせいだろうが）以前とは区切り方が微妙に違っていて、長めの文章を入力して変換すると妙な所で区切って意味不明の文章を作ってしまうので、もう一度、短く区切って打ち直すことになったりする。「予測変換機能」は機能停止させたが、「文節認識」の精度を私好みに調整できず、全力疾走直後にインタビューを受けているアスリートのように、短いフレーズを打ち込んで変換するという作業をすることになる。

実は、この文章、上の「ハードウェアは文字通り工業製品なので」の記述あたりから、別の「Win7パソコン」に乗り換えて作業している。文章作成に勢いがついてくると、今のメインパソコンの変換機能だと、思いついた文章を一気に記述しようとすると、返っていちいち修正が必要になり、変換機能に足を引っ張られて、思うように記述できないのだ。

そういう経験を重ねている内に「AIのディープラーニング」って付度機能のように思われているけど、現状の方法では「AI」に個人を認識することができないんじゃないか……という思いが強くなってきたのだ。

世界中の（ネット接続された）人の特性を学んで、思いに寄り添う能力を高めよう（高めさせよう）という試みが実際に始動しているわけだが、「AI」が学んでいるのは「ビッグデータ」から抽出された関連の高い連なりであって、「哲学的概念としての人間の特性（習性）」には近づくだらうが、現実の「一個人の特性（習性）」からは、どんどん離れていくように思えてくるのだ。

「AIには個人を認識することができない」というのでは無い、現状の「ディープラーニング」の方法ではだめなのでは無いかということなのだ……どこまで行っても「より詳細にカテゴリー分けされた小集団」に対する対応パターンでしか無く、「一個人の特性」にたどり着けないのではないかと思えてくるのだ。

そういう思いをもち始めると「世界にひとつだけの花」と同時に「みんなちがってみんないい」というフレーズが頭の中に浮かんできて、ネットで検索してみようということになったのだ。

（高石 公資）

保護者の方のサポートを強化したいと思います

2018年は当事者だけでなくそれを支える方（主に保護者になるでしょうがその限りではありません）の支援を強化したいと考えております。

当事者のことでの悩みや相談（愚痴レベルでも構いません）、心に引っかかっていること、ちょっと話を聞いてほしいとかまで対応いたします。（予約制・60分2000円）当事者を支える側が疲弊したりしていくことは当事者本人も一番つらいこととなります。ぜひご活用ください。

イベント紹介・報告

☆11月3日
アポロ活動
学園祭に行こう 佛教大学

KSCE としては一昨年（2019年）の龍谷大学学園祭に続いての2回目の学園祭へ行こう、でした。学生さんの熱気といろいろな催し物にとっても満足な1日でした。模擬店の食べ物いっぱい食べ過ぎてお腹いっぱいになりました。



☆11月4日
散策部&学食 ミーティング

12月7日に龍谷大学大宮学舎 1月（日程未定）に精華大学に学食 walk へ行きます。

12月9日に嵐山花灯路に散策部で行くことになりました。

☆11月15日
集い場〇活字倶楽部

趣向を変えてパズル雑誌を購入して言葉を使ったパズルをみんなで行いました。



☆11月19日
アポロ活動 岡崎フリマ参加

とても寒い日でした。その中手伝ってくれた方ありがとうございます。8500円ほどの売り上げがありました。物品寄贈したいただいた皆様ありがとうございます。次回は1月21日の予定です。

☆11月21日
健康体操教室

健康体操教室ではこれから活動内容を動画でフェイスブックページなどに上げて活動をお知らせしていきたいと思っています。



☆11月23日

集い場○ レクリエーション部A

今日はレクリエーション部のみの実施でしたので歓声なども気兼ねせずにワイワイとボードゲーム、カードゲームで遊びました。



☆11月25日

集い場○ 散策部
北野天満宮 天神さん 露店巡り

北野天満宮の天神さん、ものすごく盛況でたくさんの露店が並びいろいろなものを見て楽しみました。



ものづくりかふえ

☆11月17日

集い場○ ものづくりかふえ

羊毛フェルトで冬のものをイメージしたものを作成しています。



お知らせ

「年末年始のお知らせ」

京都教育サポートセンターの年末年始は当所のあるビルのエレベータ工事により下記の日程で年末年始休業といたします。当初の予定より長くなり、またこの期間スタッフも駐在しません。この期間に御用のある方は南山携帯電話またはメールなどで連絡ください。

年末年始スケジュール（イベントご参加くださいね）

2017年

12月28日年内最終日 レクリエーション部 A 実施 13時半から

12月29日～1月4日 年末年始休業

※29日～4日18時までは完全にスタッフ出入りしません。KSCE 電話は留守番電話にしますが確認は4日18時以降になります。

2018年

1月4日 初詣 13時早川ビル1階集合

1月5日 年始再開

1月7日 新年会 18時から22時（18歳未満21時半まで）参加費 利用生700円 その他1000円 お酒（当然ですが20歳以上のみです）・つまみなどは持ち寄り 食事は出ます（鍋をする予定です）

1月11日 十日戎 18時出発（商売繁盛の神様 糸びす神社に参ります。途中露店がいっぱいあります）参加申込1月5日20時まで。

1月13日 餅つき（他団体イベントへの参加）

休業中の連絡先

南山 携帯電話 090-6206-3738 メール soudan@ksce.jpn.org

各種 SNS による連絡も可能です。ご希望の方は南山までお聞きください。

☆ 物品寄贈を随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただくと幸いです。

大阪府茨木市 匿名様、京都市左京区 匿名様、伏見区 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございます。（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 soudan@ksce.jpn.org まで。

集い場○

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

健康体操教室	次回 1月16日火曜日	14時半～	
活字倶楽部	次回 1月17日水曜日	13時半～	
学食 Walk	1月22日ミーティングで決定		1月は精華大学予定
散策部	1月22日ミーティングで決定		
レクリエーション部	1月7日ミーティングで決定		
ものづくりかふえ	次回 1月19日金曜日	15時～16時半	

※アポロ活動・集い場○活動への参加には原則として
事前申し込みが必要です。（内部生は事務所内活動は連絡なくても可能ですが
変更の場合もあるので軽くスタッフに伝えるだけでもありがたいです）
また利用生でない方の参加申込は初回に連絡先・名前・年齢が必要です。
2回目には事前アンケートの記入をお願いいたします。

アポロ活動

アポロ活動はフリースクール活動のうち定期的に行っている集い場○活動以外のものを指します。

アポロ11号クルーが月面に最初の一步を踏み出したことに倣って
社会への一步を目指すエネルギーの充填につながることを目的としています。

単発レクリエーションイベント・飲食系・パーティ系統・社会活動・他者主催イベント参加などです。

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方を募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただいております。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

編集後記

2018年はスポーツが好きな私としては大きなイベントの多い年になり、（サッカーワールドカップ、平昌冬季五輪）すごく楽しみだなあと感じていると2019年はラグビーのワールドカップ、2020年は東京夏季五輪と続くんですね。もっと楽しみになりました。

この冬は最近では寒い目の冬になると言われています。皆様、体調の変化に気を付けてお体ご自愛ください。

（南山 勝宣）

2018年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 アポロ活動 初詣	5 年始再開	6
7 アポロ活動 新年会	8 成人の日 KSCE・MESと もに休業	9	10	11 アポロ活動 十日戎	12 アポロ活動 パレット清掃	13 アポロ活動 もちつき
14	15	16 集い場○ 健康体操教室	17 集い場○ 活字倶楽部	18	19 集い場○ ものづくりかふえ	20
21 アポロ活動 岡崎フリマ	22	23	24	25	26	27
28 アポロ活動 豊国神社 手作り市	29	30	31			

1月

(12月6日
時点の予定)

4日(木) アポロ活動 初詣
13時集合 早川ビル1階 参加費無料

5日(金) 年始再開日
7日(日) アポロ活動 新年会
18時から

8日(月) 成人の日 京都教育サポート
センター・個別教育予備校 MES ともに休
業します

11日(木) アポロ活動 十日戎
18時出発 参加費無料

12日(金) アポロ活動 パレット河原
町清掃活動 9時半～10時半

13日(土) アポロ活動 もちつき
LPW 主催参加 高野教会 詳細は問い合
わせください

16日(火) 集い場○ 健康体操教室
14時半～ 参加費無料

17日(水) 集い場○ 活字倶楽部
13時半～ 参加費 内部生無料 その他
200円

19日(金) 集い場○ ものづくりかふえ 15時～
参加費無料 作成物持ち帰り希望者は実費

21日(日) アポロ活動 岡崎フリマ
8時30分出発 参加費無料

28日(日) アポロ活動 豊国神社 手作り市 (予定)

2月3日(土) 節分祭 (予定)

集い場○レクリエーション部 12月7日ミーティ
ングで決定

集い場○散策部 12月22日ミーティングで決定
集い場○学食 walk 12月22日ミーティングで決定
1月は精華大学予定

※お詫び

2017年12月号で告知していました12月29日
の大清掃・忘年会(中止)
1月4日運営再開日(1月5日に変更)が変更になり
ましたことお詫び申し上げます。

12月29日～1月4日年末年始休業
毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年12月7日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター